

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町1-1 TEL 39-2322]



空知川に魚を育む会による放流風景

平成24年

第2回

定例会

6月1日～6月18日
(18日間)

主な内容

- ・議決結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- ・一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3～6
7名の議員が市政全般について質問
- ・委員会報告等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6～9
総務文教委員会報告・保健福祉委員会報告
経済建設委員会報告
議会広報特別委員会報告
議会改革特別委員会報告
議員派遣報告（ふらの未来の会都市事例報告）
議員表彰
議会報告会
- ・議会日誌・編集後記等・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10

平成24年 第2回 富良野市議会定例会議決結果表

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第1号	平成24年度富良野市一般会計補正予算(第2号)	6月18日	原案可決
議案第2号	平成24年度富良野市ワイン事業会計補正予算(第1号)	6月18日	原案可決
議案第3号	外国人登録法の廃止等に伴う関係条例の整理について	6月18日	原案可決
議案第4号	富良野市手数料条例の一部改正について	6月18日	原案可決
議案第5号	富良野市自然環境活用センター設置条例の一部改正について	6月18日	原案可決
議案第6号	富良野市職員の特地勤務手当支給に関する条例の廃止について	6月18日	原案可決
議案第7号	財産の無償譲渡について	6月18日	原案可決
議案第8号	財産の取得について	6月1日	原案可決
議案第9号	富良野市教育委員会委員の任命について	6月1日	任命同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	6月1日	適任
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について	6月1日	報告済
報告第2号	事故繰越し繰越計算書について	6月1日	報告済
報告第3号	専決処分報告(平成23年度富良野市一般会計補正予算、富良野市介護保険特別会計補正予算)	6月1日	原案承認
報告第4号	専決処分報告(富良野市税条例の一部改正、富良野市国民健康保険税条例の一部改正)	6月1日	原案承認
報告第5号	専決処分報告(市道における物損事故の損害賠償及び和解について)	6月1日	報告済
報告第6号	専決処分報告(市道における物損事故の損害賠償及び和解について)	6月1日	報告済
報告第7号	専決処分報告(平成24年度富良野市一般会計補正予算)	6月1日	原案承認
報告第8号	専決処分報告(公共施設による物損事故の損害賠償及び和解について)	6月1日	報告済
意見案第1号	基地対策予算の増額等を求める意見書	6月18日	原案可決
意見案第2号	「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書	6月18日	原案可決
意見案第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書	6月18日	原案可決
意見案第4号	2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書	6月18日	原案可決
意見案第5号	森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書	6月18日	原案可決
その他会議に付した事件	所管事項に関する委員会報告		
	・事務調査報告(総務文教)	6月1日	報告済
	・事務調査報告(保健福祉)	6月1日	報告済
	・事務調査報告(経済建設)	6月1日	継続調査
	議員の派遣に関する報告	6月1日	報告済
	議会改革特別委員会報告	6月1日	継続調査
	議会広報特別委員会報告	6月1日	継続調査
	監査委員報告		
	・例月出納検査結果報告(平成23年度1月分～3月分)	6月1日	報告済3
	議会運営委員会委員の補充選任	6月18日	選任
	議会改革特別委員会委員の補充選任	6月18日	選任
	閉会中の所管事務調査について(総務文教・保健福祉)	6月18日	許可2
	閉会中の都市事例調査について(経済建設)	6月18日	許可1

一般質問

今 利 一

(市民連合)

市民参加はどの時点です！

問 平成24年度の市政執行方針には、市長の市政信条は市民の声を聞き、市政に反映させる市民本意の開かれた市政運営である。社会が大きく変貌する中で、全てのニーズを行政のみで担うことは困難となり、「市民対話と情報開示」により情報共有する



地域懇談会 (麓郷集落センター)

中から市民と共に知恵を出し合い、市民と行政が役割分担し、支えあう自助・共助・公助による協働のまちづくりを担うのは「人」であり、まちづくりは「人

づくりとしている。

こうした基本的な考え方から今回の「総合こども園」の建設計画は、市長の信条から逸脱している。容認できない。あおぞら保育所、麓郷小中統合については不満が残ったが地元の合意を得て進めた。何故総合こども園はそうした経緯をとれないのか。

答 市民対話をどの様に行うかはその状況によって異なる。

こども園については、富良野市第5次総合計画の中で、明確に皆様方に賛同を得た状況にある。また、選挙公約でもあることから、話し合いは十分行ったものと認識している。

問 協働のまちづくりを担うのは「人」である。まちづくりは人づくりと言っているが、今回行った地域懇談会により地域が分断され、若者離れを引き起こしてしまっただけではないか。あらためて協働のまちづくりについて伺う。

答 協働のまちづくりは、部分的な所だけ見るのではなく、色々な角度から行わなければならぬ。総合的な判断の中で行うことと考える。

本 間 敏 行

(ふらの未来の会)

個人住宅リフォーム事業の継続

問 東日本大震災で日本経済も大打撃を受け、富良野市も、その影響は例外ではない。地域経済活性化と雇用の維持確保の促進、市民の住環境整備を目的とした、住宅リフォーム促進事業の継続について、どのように考えているか。

答 平成21年度より3年間、リーマンショック、公共事業の縮減等、建設業を中心とした経済不況が懸念され、市内建設業の経済活性化と雇用の維持確保を



ユニットバスリフォーム

促進する政策が求められ、民間需要による経済活性化を目的として単独事業の住宅リフォーム促進事業を実施した。この間、補正予算により、当初計画のほぼ倍の273件、補助総額5千520万円の助成事業を実施し、事業費総額6億5464万5千円の事業効果があり、当初の目的が図られたと判断して平成23年度で終了し、平成24年度以降の継続は考えていない。

プレミアム付ふらの市内共通商品券の取り組みは

問 例年のように、富良野商工会議所からの「プレミアム付ふらの商品券」に対しての要望があれば、市の取り組みとして、どのように考えているのか。

答 地元消費の促進、地域内経済の活性化を目的に富良野商工会議所が発行しており、この商品券は市民にも浸透している。また、利用可能な個店も増加傾向で消費者アンケートによると地元で買い物をして貢献したいなど、地元消費への意識が高まっており今後関係団体の要請があれば情勢を判断し考えたい。

日里 雅至

(民主クラブ)

中心市街地活性化

問 東4条街区再開発について。

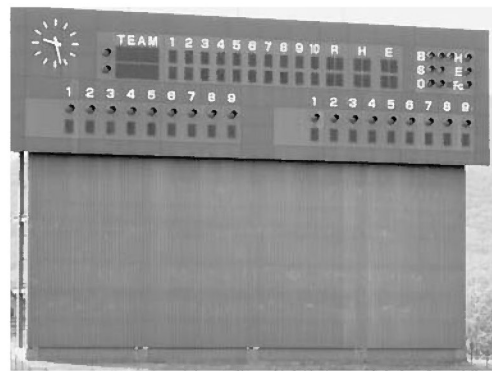
答 本年度については予定している事業認可が下り次第、実施設計に着手するが、総合こども園については、この実施設計の中で、市民から出された意見を総合的に判断し、設計に反映していく。その後9月頃に権利変換計画の認可申請、11月頃には第一期工事として一部建物を解体し着工を予定していると聞いている。

問 事業推進に向けての合意形成は。

答 市の総合こども園の計画については、市議会で請願が採択されたことに伴い、3月27日から5月14日まで延べ951名の参加を得て地域懇談会、意見交換会を開催し計画の趣旨説明を行うと共に、5月15日から6月4日までパブリックコメントを実施し市民の皆さんから様々な

意見が寄せられた。

これら地域懇談会や意見交換会、パブリックコメントで出された意見は必要性に十分に配慮して建設計画に反映させていきたい。



改修された富良野市民野球場スコアボード

スポーツ施設の整備は

問 富良野市民野球場、若葉球場スコアボードの改修について伺う。

答 富良野市民、若葉両球場のスコアボードについては、国際慣習にならって、ストライク、ボール、アウトの表示順をポール、ストライク、アウトの表示順に変更改修に向け準備を進めている。改修予定については6月末完了を予定している。

岡野 孝則

(民主クラブ)

少子化対策の推進状況は

問 平成13年度策定した富良野市エンゼルプラン、現在は次世代育成支援地域行動計画後期で開始後12年目を迎える。育児休業制度普及の実態は。

答 企業や職場の理解と協力のもとに育児休業制度や労働時間短縮の普及啓発を推進し、平成22年富良野商工会議所が育児休業制度に関する調査を行った結果、会員603事業所の内27事業所が内部規則に明記されている現在の実態である。

問 内部規則に明記されている事業所は、会員事業所の内5%弱であるが今後の推進策は。

答 関係団体と協議し、厳しい経済状況であるが推進したい。

空き家の環境美化と安全対策の現況は

問 空き家総軒数と放置され環境を損なう空き家軒数の実態は。

答 空き家総数は1110軒、

内長期不在、居住見込無しは580軒で、環境悪化を招くような放置された空き家についてはそれぞれの状況が異なるため、全体の把握はしていない。

問 現在、環境悪化及び安全を損なう空き家については情報が寄せられてから指導されているが今後環境美化、安全管理のための空き家管理条例制定の考えは。

答 適切な助言、指導や勧告、公表、命令等を必要に応じて行うことができる条例制度を検討。

青少年の健全育成

問 携帯電話等のゲームで、高額請求された実態と対策は。

答 現在本市での事例はないがネット被害等の防止活動を強化。



環境悪化を招く空き家

一般質問

天日 公子

(民主クラブ)

本市の節電対策は

問 本道の節電目標が2010年比7パーセントと設定された。この問題は期間的なものではないと思うが、対策は。

答 家庭での節電メニューについては特に夕方以降18時から20時の時間帯での協力要請があり照明の節電が重要。行政、市内企業には各業種別に節電メニューが示され取り組んでいく。また、対策の情報は広報、ホームページ、報道機関などを通じ企業・一般家庭への周知徹底を図る。

通報システムで安否確認は

問 緊急通報システムは平成7年45台から始まり、平成16年には300台をピークとして平成24年5月末では199台。

平成22年度から、利用対象者の拡大をしているにもかかわらず、平成23年度設置目標280台、平成24年度の目標250台から

みると現在の緊急通報システムの利用者が199世帯は、どうも少ないと思うが、使いにくい理由があるのか。計画と実態の開きを行政はどのように受け止めているのか。



緊急通報システム装置

答 減少の主な理由は死亡、施設入所、転出、家族との同居によるものとなっており、設置より廃止のほうが多い状況にある。

問 児童・民生委員の労力を軽減するためにも安否確認ができる通報システムにできないか。

答 事業者からの安否確認はできるが、委託事業であり中身を検討、対象者・経費を含めて今後の課題である。

◆その他の質問

・成年後見制度について

広瀬 寛人

(ふらの未来の会)

観光施策・サイン計画の策定は

問 現状認識と問題点の把握は。

答 これまで設置されている観光案内板は表記が不統一なもの、分かりにくいもの、老朽化しているものがあり、また乱立により景観が損なわれている現状もある。

問 策定手法は。

答 多言語案内表示ガイドラインを土台に関連する国・道など道路管理者や景観法、北海道屋外広告物条例などを所管する関係機関と連携して「効果的な誘導」を視点を策定を進めたい。

通学路に対する現状認識を伺う

問 富良野小学校周辺の規制と今後の対応は。

答 国道を除き学校を取り囲む道路は休日、日曜を除く朝7時30分から9時までの間、車両進

入禁止の規制。学校周辺を通行される市民に対し交通規制の遵守は勿論、児童生徒の安全を考慮して交通ルールを守るよう関係機関に周知を行う。

問 緑町児童センター建設との連携は。

答 扇山小学校児童並びに児童センターに来館する児童の安全確保を第一に、登下校時における児童の動線と送迎を行う保護者の自動車による動線、教職員の自動車での通勤による動線、さらに児童館に来館する児童の自転車の動線が出来る限り重複しないように児童の通用門と車両の出入り口を分ける方向で学校、PTA、子ども未来課と協議を行いたい。



富良野小学校周辺交通標識

渋谷正文

(ふらの未来の会)

農業における高齢者対策

問 高齢な農業者の農業及び農村基本計画における今後の位置付けは。

答 農業及び農村基本計画では、地域農業資源の維持管理活動への参加促進や営農形態の転換などによる現役期間の延長を促進する取組みを進めることとしている。今後においても、農業の多様な担い手として、地域の農業生産や地域活動を支える重要な役割を担う者と位置付ける。

問 高齢な農業者が有する経験・技術等の利活用は。

答 大変重要でありかつ貴重なものと認識している。こうした経営資源を労働力の確保や経営継承の面にも活かせる仕組みづくりの検討を進める。

エネルギー対策

問 本年実施する省エネルギー対策は。(市内)

答 オフィスでの総電力の85%



大規模太陽光発電施設(兵庫県淡路市)

を占め、電力消費の高いと言われる空調電力の37%、照明及びOA機器48%の省エネに努める。職員個々がこまめな節電行動を意識・実践し、空調設備のある文化会館、保健センター、図書館等は利用者にもご理解をいただき、28度設定を徹底する。

問 地域で得られるエネルギーを敷設した行政施設建設の展開。

答 固形燃料は本市で生産している唯一のエネルギーであり、専用ボイラーの開発について現在、調査研究を進めている。省エネルギー化を第一に考え、地域で得られるエネルギーを最大限活用することを念頭に災害時の防災拠点としても機能維持が保たれる施設建設に努めたい。

総務文教委員会

■市有財産について

本委員会では、市有財産の中でも未利用財産の調査を重点的に行い、合わせて現地視察を実施しました。

また、本市は平成23年度に新公会計システム導入事業を実施し、財務諸表の整備に取り組んでいることから、新たな公会計制度の導入経過を含め調査をしました。

未利用財産については、行政内部はもとより、市民から見ても明確な情報開示に努めるとともに、観光地である本市にふさわしい、景観に配慮した維持管理を願うものです。

なお、未利用財産の周知と適正な維持管理のため、遊休地周辺の地域住民と話し合い、地域からの希望がある場合は、地域による環境整備を兼ねた利活用についても視野に入れることを検討された。

また、未利用財産は、売却処分と貸付による利活用にあ



市有財産現地調査

わせ、市が継続して保有することにより、将来、価値ある利活用が可能な場合もあると考えます。現在、利用されていない財産であっても、市民共有の財産に変わりはなく、行政財産と同様に、本市のまちづくり全体からみた利活用方針の判断が必要であると、委員全員の意見が一致しました。

今後は次の点に留意され、市有財産の有効的な利活用を図られたい。

未利用財産は適正な維持管理に努めるとともに、まちづくり全体を見据えた利活用を目指し、「富良野市未利用財産利活用基本方針」の万全な運用を図られたい。

委員会の動き

委員会の動き



支援事業による利用者のパンづくり(ラベンダーの郷)

保健福祉委員会

■障がい者福祉

障害者手帳交付者は1561名で障害者自立支援法に基づき支援が行われています。委員会として、就労移行支援事業、就労継続支援事業及び地域生活支援事業を中心に調査しました。

就労移行支援事業は、就労を希望し自分の適性にあった職場への就労を目的に必要な訓練が提供されています。就労継続支援事業は、形態別にA型として雇用契約に基づき、B型は非雇用としてそれぞれ訓練を提供するもので本市はB型が殆どです。

地域生活支援事業は、障がい者相談支援事業をはじめ、社会参加促進事業等10項目の事業が行われています。

本委員会は訓練の実情把握として、富良野あさひ郷及びエクエート富良野が運営する6施設を視察し、各事業所ではパンや菓子類、豆腐、ラベンダーポプリの製造や園芸作業、陶芸等の創作活動を行っています。委員会としての感想は、職員が指導及び監督に従事し、この労働環境の重責とサービスの提供を継続するために職員の確保の重要性。また、生産活動での製品の周知と障がい者福祉施策への理解を得る広報活動も課題です。

以上のことを踏まえ委員会の意見として、①障害者手帳等申請窓口のわかりやすさ。②障害者手帳等の交付を受け、障がい福祉サービスの受けていない方々の対応として、家庭訪問等での実態把握が必要。③創作活動での製品等の展示により地域との交流促進。④支援から一般就労につながる環境の整備により障がい者の雇用の充実が重要です。

経済建設委員会

■住宅施策について

本委員会では第1回定例会で「住宅施策について」事務調査の許可を得て、担当部局から調査に係る資料の提出と説明を求め、富良野市の住宅施策に関する調査を進めています。

委員会では、少子高齢化や地域コミュニティを含めた富良野の将来を見据えた住宅施策に資するべく議論を重ね、重点課題として、①公営住宅について②富良野市耐震改修促進計画についての三点を重点課題に挙げ、住宅政策貢献できるよう進めています。

現状での、富良野市の人口推計は平成32年には、2万1千人にまで減少すると予測されている中で、富良野市公営住宅等長寿化計画に改定し、従来からの量的な住宅施策の見直しを図っています。

また、市住生活基本計画の策定年度でもあり、公営住宅の改



ユーフレ団地完成予想図

善と適正な供給、バリアフリーの推進、まちなか居住の推進、富良野らしい田園住宅の整備促進、ふらの型住宅普及促進など過去の計画を検証し新たな方向を示す時期でもあります。

耐震改修促進計画では、市で起こり得る地震を想定し、市の耐震改修促進事業もあわせて行い国や道の耐震化率90%を目指し耐震化を図ってきています。

一方で市内には老朽化や空き家も目立ち、火災や地震、雪害被害などへの対応など行政の基本的な姿勢を明確にしておくべきです。

今後は都市事例調査とともに、さらに調査検討を深め政策提案を目指していきます。

議会広報特別委員会

■一定の見解まとまる

当委員会は、平成23年第2回臨時会において、広報誌の継続発行と合わせ、多様な媒体を活用した広報活動のあり方について調査・研究を行い、一元化した情報管理のもと、情報提供が行えるようにとの理由で設置されました。

委員会ではこれまで、広報誌の発行と並行しながら、項目ごとに現状と課題などについて活発に議論し、その都度報告してきたところですが、「情報管理及び発信の一元化」を図るための基本的な考えと方策・進め方について、一定の見解がまとまりましたので報告いたします。

議会広報誌については、見やすくなりやすい誌面づくりを心がけますが、限られた予算内での発行でもあり、極力コンパクトにまとめ、市民意見なども協議し改善を図っていきたくと考えています。

また、ホームページについて



広報委員会風景

は、掲載内容を項目ごとに検討いたしました。今後も定期的にチェックにより管理しリニューアルにつとめたいと思います。

F Mラジオについては、難聴地域解消などの根本的な問題はありますが、カバー率の一層の向上を課題としながらも、必要としていただける市民に、より分かりやすい情報として伝達できるよう、委託する放送のあり方、編集内容も十分確認しながら、推進していきたくと考えています。

今後とも一元化を図りながら、また議会活動や行政のまちづくりに対して、一人でも多くの市民に関心を持っていただけるよう活動してまいります。

議会改革特別委員会

継続課題であるインターネットによる議会中継目的は、市民の代表機関として意思決定機関である議会を速やかに富良野市民に情報公開を行い、議会に対する理解を深め信頼を高めより開かれた議会を目指し、市民とともにつくる「まちづくり」の推進を目指し実施に向けた協議を重ねてきました。

4月13日に、インターネット議会中継を実施している北広島市議会の調査を行いました。

北広島市議会では、平成20年に検討調査を行い導入経費として760万円と試算し多額であると判断し断念。その後平成22年に道都大学教授より、ユーストリームによる配信の提案を受け、改めて導入経費等の調査検討を重ね、同年の第2回定例会に試験導入し第3回定例会より本格実施しました。

さらに、予算、決算審査特別委員会のインターネット中継導入を決定し平成24年度予算審査特別委員会より配信を開始しま

した。

当初の導入経費は、回線使用料、中継委託料、工事関係費用等60万7千円で、今年度予算は回線使用料8万1千円です。

利用者の意見として、議員の姿・声が聞こえる、議会を知ってもらうには有効な手段であるなど寄せられています。

また、問題点として不適切な発言など、そのまま配信される点や、ユーストリームサービスが終了した場合の代替手段がないなどが挙げられました。

委員会では、インターネット議会中継の目的・配信方法・中継・配信内容などを定めた要綱の議論を重ね、中継に向け技術的な課題等の検討を行います。



北広島市議会視察風景

ふらの未来の会 都市事例調査報告

ふらの未来の会・議員5名が平成24年第1回定例会で議決を得た都市事例調査として、中心市街地再開発の先進事例・成功事例と注目されている香川県高松市丸亀町商店街の取り組みを視察し、その要諦を学んできたので報告します。

①消費者が欲しがるものを提供出来ていない自らの責任であることを自覚したこと。②商店づくりから街づくりに発想を転換したこと。③定期借地権を活用して土地問題の克服と商売の継続や廃止、相続税など諸問題の解決に目処を付けたこと。④首都圏を中心とした各分野のエキスパートの知恵と人脈を借りて現行法で解決できない問題を乗り越えたこと。⑤少子高齢・人口減少社会・成熟社会に向かうことを前提として街づくりの設計を進めていること。⑥地元出身者の人材活用としてUターンを受け皿づくりにより不足しがちな人的資源を集約しているこ

と。⑦当初計画通りに進まない事象は大手資本の力を借りる柔軟性を有していること。⑧自らの抛出金・課金と私的権利を制限して行う街づくりBID（主にアメリカで行われる街づくり手法の一種）に取り組もうとしていること。これらのことを多大なエネルギーと時間を要しても諦めずに、こつこつと毎回集まり話し合う、コミュニティの結束力、他人任せにしない当事者意識は目を見張るものがあり、その熱意と固定資産税評価等に結びつく経済的合理性から自治体の投資と回収に裏付けが担保される仕組みが成立しており市民が主役の街づくりとして大いに参考となりました。



丸亀町再開発による商店街

永年勤続表彰

5月23日に東京都において開催された全国市議会議長会第88回定期総会において、会長より、本市議会今利一議員並びに菊地敏紀議員が議員10年以上の勤続表彰を受け、本会議初日の6月1日にそれぞれ伝達されました。



平成24年度 議会報告会を開催します！

議会改革の取組みとして平成23年度から始めた議会報告会は、試行実施から本年度で4年目となります！富良野市議会では、議会がより身近なものとなるよう、議会の活動状況、委員会調査内容などを本年度も地域に出向いて報告いたします。

議会報告会は、この活動を積み重ねながら、議会の機能を高めることを目的に開催するものです。つきましては、日程が決定している会場及び今後予定している会場をご案内いたしますので、多数の市民の皆様がご参加くださるようお願いいたします。

月日(曜)・時刻	会場名	参集範囲	班	担当班議員名
8/6(月) 18:30	北の峰コミセン	北の峰町・下御料・学田三区	2	
8/7(火) 18:30	南コミセン	緑町・扇町・南町	2	◎班長 ○副班長
8/10(金) 18:30	朝日会館	朝日町・本町・日の出町	1	<1班>
8/20(月) 18:30	栄町コミセン	栄町・若葉町・幸町	2	◎岡本議員・○大栗議員 渋谷議員・小林議員 関野議員・北議員
8/27(月) 18:30	西地区コミセン	新富町・西町・北斗町・桂木町 ・清水山・島の下	2	
8/28(火) 19:00	東春コミセン	春日町・東町	3	
8/29(水) 18:30	麻町児童センター	麻町	3	<2班>
8/30(木) 18:30	未広コミセン	未広町・弥生町・若松町	1	◎天日議員・○黒岩議員
8/31(金) 19:00	山部福祉センター	山部地区	3	横山議員・萩原議員 菊地議員
未定	東部児童センター	花園町・錦町・瑞穂町・住吉町 ・新光町・東雲町	1	
未定	育良会館	五区・上御料・中御料	3	<3班>
未定	布部会館	布部・扇山	3	◎岡野議員・○広瀬議員
未定	鳥沼会館	大沼・鳥沼地区・学田二区	1	本間議員・今議員
未定	布礼別集落センター	麓郷・布礼別・富丘・八幡丘	2	石上議員・日里議員
未定	東山公民館	東山地区	1	

5月

- 14日・議会広報特別委員会
- 15日・議会改革特別委員会
・代表者会議
- 16日・経済建設委員会
- 17日・総務文教委員会
- 18日・保健福祉委員会
- 21日・議員協議会
- 23日・総務文教委員会
- 28日・議会改革特別委員会
・保健福祉委員会
- 30日・議会運営委員会
・議会広報特別委員会

6月

- 1日・第2回定例会(1日目)
・総務文教委員会
・議会広報特別委員会
・代表者会議
- 12日・第2回定例会(2日目)
・代表者会議
・保健福祉委員会
- 13日・第2回定例会(3日目)
・議会運営委員会
- 18日・第2回定例会(4日目)
- 20日・議会改革特別委員会
・経済建設委員会
- 22日・総務文教委員会
- 27日・第1回広域連合議会臨時会
・第1回臨時会告示日
- 28日・保健福祉委員会

7月

- 2日・経済建設委員会
- 4日・第1回臨時会
・議会運営委員会
・議会改革特別委員会
- 10日・議会広報特別委員会
- 11日・経済建設委員会都市事例調査
～13日
- 13日・総務文教委員会
- 17日・保健福祉委員会
・議会改革特別委員会
- 18日・議会広報特別委員会
- 25日・議会広報特別委員会
- 30日・保健福祉委員会
- 31日・経済建設委員会

傍聴してみませんか

平成24年第3回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日程】

- ・9月4日(火) 開会日
- ・9月10日(月) 一般質問
- ・9月11日(火) 一般質問
- ・9月12日(水) 予備日
- ・9月14日(金) 最終日

※ 開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は、日程をご確認ください。
※ 多くの方の傍聴をお待ちしています。

お問合せ：議会事務局

☎ 39-2322

委員公名	調査目的	調査地	調査日
経済建設委員会	住宅施策について	三重県名張市・岐阜県多治見市・富山県滑川市	7月中旬
保健福祉委員会	調査第4号	子育て支援について	
総務文教委員会	調査第3号	地域新エネルギーについて	

● 各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査、都市事例調査を行います。

可決された意見書

◇ 第2回定例会に議員提案された意見書は5件です。関係機関に送付しました。

- 基地対策予算の増額等を求める意見書 (岡野孝則議員 外5名)
- 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書 (大栗民江議員 外4名)
- 地方財政の充実・強化を求める意見書 (今利一議員 外5名)
- 2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書 (岡本俊議員 外4名)
- 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書 (黒岩岳雄議員 外3名)

編集後記



▼ 緑の山々に囲まれた富良野盆地も、夏真っ盛りの季節となりました。

▼ 今年は、ご家庭での計画停電が本市にも実施されているので、戸惑われてはいないでしょうか。

▼ 「節電」「節水」対策は大切ですが、体調を崩さないようお互いに声を掛けあつて厳しい夏を乗り越えていきたいものです。

▼ 政府からは、国民の皆様へのお願いコールを何度も耳にしますが、昨年の大震災以降、国の対応策も不透明なまま国民にお

願いするのではなく、早急な対策を進めて頂きたいものです。

▼ 様々なイベントや夏祭りが活発に開催された3カ月。

ふるさとを離れ、10年振りに富良野を訪れることができた知人から開口一番「やつぱ富良野はいい。匂いが違う」と言われ、ドキッとしました。

▼ 風の香り、樹木の緑、大地の恵み、人々の温かさにあふれた環境にいることに改めて感謝、感謝。

▼ お盆をひかえ、無事故で有意義な交流となりますように。

議会広報特別委員会
委員 大栗民江